

北九州市立文学館特別講演会

山崎ナオコーラさん トークライブ ～ミライの源氏物語～

日時 令和6年8月10日(土)
13:30～15:00 ※開場 13:00

会場 J:COM 北九州芸術劇場 小劇場
(北九州市小倉北区室町1-1-1 リバーウォーク北九州6階)

定員 100名 参加無料／要申込

『源氏物語』は、千年以上も前の平安時代中期に紫式部によって書かれ、今も読み継がれています。

山崎ナオコーラさんは、物語に登場する女性たちの境遇を、現代社会の問題——ルッキズム、ロリコン、貧困、ジェンダーの多様性など——と照らし合わせ、現代の視点から『源氏物語』を読むことは未来の読者へバトンを渡すことにつながると、エッセイ『ミライの源氏物語』で書かれています。

現代を生きる私たちだからこそできる『源氏物語』の読み方、楽しみ方についてお話をお聞きします。

◆聞き手 北九州市立文学館館長・今川英子



写真提供 山崎ナオコーラ

山崎 ナオコーラさん (小説家、エッセイスト)

1978年、北九州市小倉北区生まれ。埼玉県で育つ。國學院大學文学部日本文学科卒業。卒業論文は『「源氏物語」浮舟論』。2004年に「人のセックスを笑うな」で文藝賞を受賞し作家デビューしてから、今年は作家活動20周年。2023年、エッセイ『ミライの源氏物語』でBunkamura ドゥマゴ文学賞受賞(選考委員 俵万智)。主な小説に『カツラ美容室別室』『昼田とハッコウ』『美しい距離』『ニセ姉妹』『肉体のジェンダーを笑うな』、エッセイ集に『指先からソーダ』『かわいい夫』『母ではなくて、親になる』など。最新刊は小説『あきらめる』。

デビュー以来、「誰にでもわかる言葉で、誰にも書けない文章を書きたい」を目標にしている。



『ミライの源氏物語』
2023.3 淡交社

申込み

7/3(水)から電話受付開始 ☎093-571-1505
【北九州市立文学館】